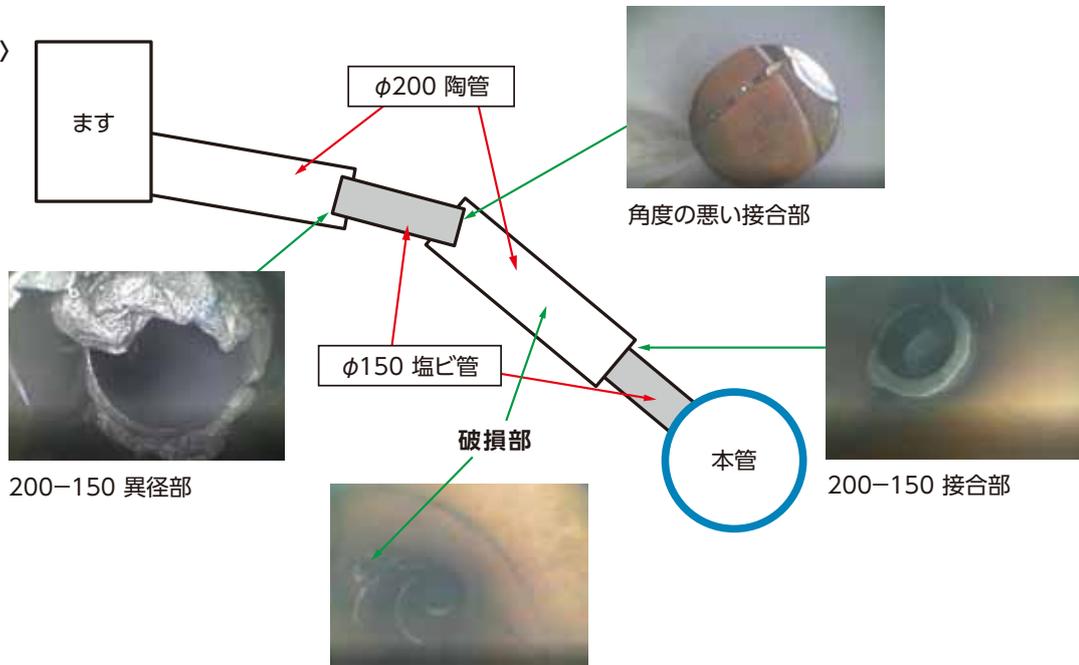


13 取付管ライニング … 異径管の更生

状況

φ200陶管の雨水管を他工事の開削時に破損。
φ150塩ビ管を差し込んで外側にモルタル巻きでの補修を行っていたことが、調査時に判明。依頼主には、φ200用材料での更生については、φ150部分の材料シワによって、インナーフィルムが除去できない可能性がある前提での施工を了承して貰い、施工を行った。

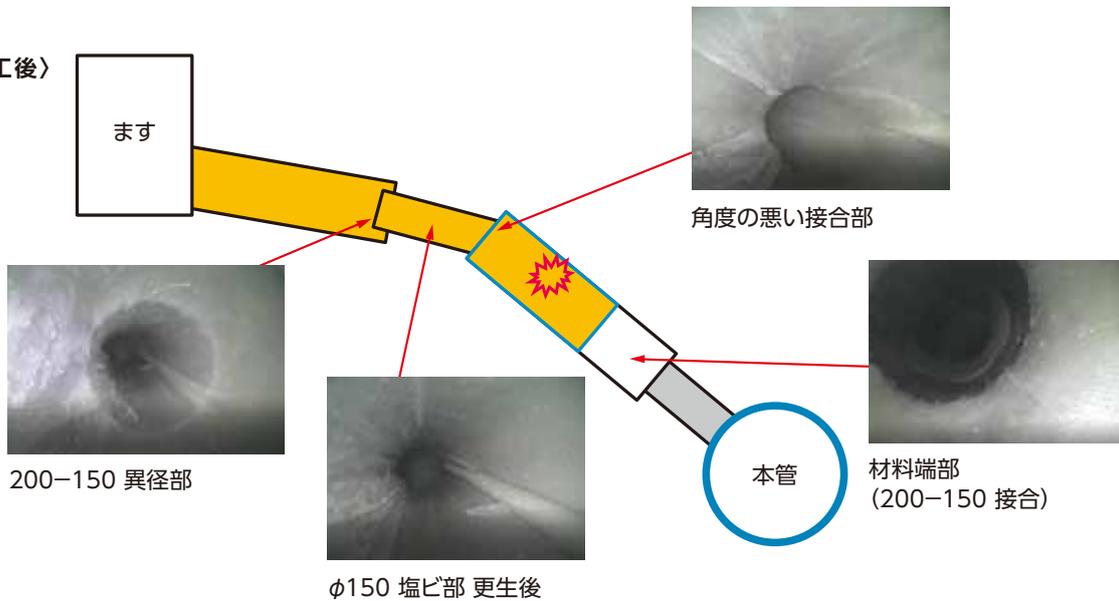
〈施工前〉



対策施工例

200⇒150⇒200⇒150と、異径管の連続となっており、破損部より下については、異常がなかったので、φ200の破損部が隠れるように、途中までのライニングを行った。

〈施工後〉



*φ150塩ビ部分に材料の縦じわが入り、インナーフィルムの一部が残ったが、事前に発注者の了解を得ていたため、問題にはならなかった。